

# われは海の子

文部省唱歌

□□□

我は海の子白浪(しらなみ)の

さわぐいそべの松原に

煙(けむり)たなびくよまやこそ

我がなつかしき住家(すみか)なれ

生れてしおに浴(ゆあみ)して

浪(なみ)を子守の歌と聞き

千里(せんり)寄せくる海の気(き)を

吸(す)いてわらぶよならにけら

高く鼻つくいその香(か)に

不断(ふだん)の花のかおりあり

なぎさの松に吹く風を

いみじき楽(がく)と我は聞く

# われは海の子

文部省唱歌

一・

□□■

我は海の子

白浪(しらなみ)の

さわぐらそぐらの

松原に

煙(たばこ)たなびく

とまぢいそ

我がなつかしき

住家(すみか)なれ

# われは海の子

文部省唱歌



二・

生ねてしおに

浴(ゆあみ)して

浪(なみ)を

子守の歌と聞か

千里(せんり)寄かへる

海の気(き)を

吸(す)いて

わらぶくすなとくらすらす

# われは海の子

文部省唱歌

三.

高く鼻つく

いその香(か)に

不断(ふだん)の

花のにおりあ

なぎさの松に

吹く風を

いみじき楽(がく)と

我は聞く

End